

細胞診依頼書 (例)

動物病院名：麻布大学附属動物病院 担当獣医師名：麻布 太郎

電話番号：042-754-7111 FAX 番号：042-769-2420

メールアドレス：avth_kensa@azabu-u.ac.jp 住所：252-5201 相模原市中央区淵野辺 ●●

オーナー名 (フリガナ)：麻布 一郎 (アザブ イチロウ) ペット名 (フリガナ)：花子 (ハナコ)

動物種：イヌ 品種：チワワ 生年月日：2020/01/01

性別：♂・♀ 避妊/去勢：有・無

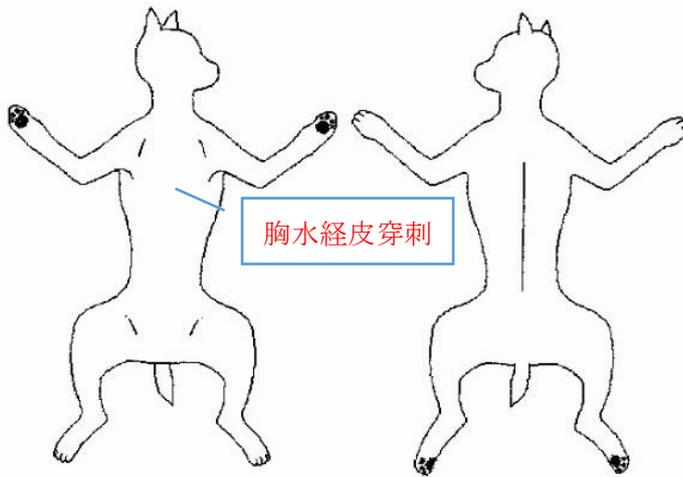
臨床診断：

【採取部位】	【採取方法】	【スライド枚数】
胸水沈渣スメア	穿刺	3枚

【液体性状】

【材料】	【TP 濃度 (g/dL)】	【総有核細胞数 (個/ μ L)】	【比重】
腹水・胸水・尿・その他 ()	2.4	1100	1.023

【臨床症状および経過、検査の目的などをご記入下さい】



左側片側腎臓嚢胞病変の精査を目的に当院を受診。

嚢胞病変の穿刺を行い、沈渣塗抹細胞診により「悪性上皮性腫瘍の可能性を示唆」と診断した。以降6ヶ月間、左腎臓嚢胞病変はゆっくりとした増大傾向を示した。

2021/7/9 再診時の胸部 X 線検査において胸水貯留を確認。

2021/10/1 再診時には胸水を80ml 抜去した。経皮穿刺により採取した今日の胸水の性状は TP 2.4g/dL、比重 1.023、細胞数 1100/ μ L で

あり、変性性漏出液と考えられた。

胸水沈渣塗抹では前回同様に集塊を成す異型上皮細胞 (中皮細胞と思われます) が散見され、腎臓原発腫瘍の胸腔転移による癌性胸膜炎を疑った。

また、エコー検査にて膀胱腹側部に腹水が認められたが穿刺が可能な量ではなかったため、今回抜去は実施していない。

胸水沈渣塗抹について細胞診をお願いします。
